
best order **覚悟の決意**

文

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

best order 覚悟の決意

【コード】

N0987N

【作者名】

文

【あらすじ】

私はまだ知らない。

まだ何をしてなぜここにいるのかは。

(前書き)

さて、意味深な物語の始まり(・・・)

「ん……ここは？」

気がつくとい私は木製の椅子に座り机にうつぶせていた。

そこは図書館の様な場所、どこまでも続く本棚、所狭しに収められた本の数々。

「何ここ……？図書館？なんで私こんな場所にいるの？」

体中が痛む、まるで誰かに乱暴にここに連れてこられたかの様だ。

「思い出せない。分からない。なんで？ここはどこ？」

考えた結果、頭に浮かんだのはこの本達。数多あるこの本の中に何かある、なぜかそう私は確信できた。

「……はあ。」

確信はできるが本の数が数、見るだけで頭が痛くなる。

しかし周りを見渡すと何故かこの数から目に留まる本棚があった。

私はその本棚の前に行きかなり上まで続く本棚を見上げた。「……

ここにある本全部題名がない。裏表紙にも表表紙にも背表紙にもど

こにも。確かここに来るまでに通った本棚の本はあったよね。」

その本に書かれているのは巻数だけ。確認のため隣の本棚を確認しようとした時。

「……ツ！？」

いきなり本棚が途方もない闇に消えていった。

あるのは題名がない本が並ぶ本棚だけ。

「今度はなに！？」

音がしたと思うと本棚の前に私が倒れていたあの机と椅子が闇の中から現れた。

「……はあ。もう何なのよ。」

机には淡い緑色の光を放つ丸くその内側には開いた本のような物と外側には見たこともない文字が刻まれていた。

私は好奇心に任せてその魔法陣に触れた。

「・・・??」

何か不思議な何かは分からない力が流れ込んできた様な気がした。

「そうだ私は・・・そうだ！あの本達だ！分からない。だけど鍵はあの本に何か手がかりが隠されてる！」

それはもう確信から確実なものに変わってる、そんな気がした。

私は本棚に置かれた第一巻とだけ背表紙に書かれた本を魔法陣の上に置き静かに開いた。

本から淡い光が私を包み込み本の中に戻って行った。

パタンツと本が閉じると机の前には誰も居なかった。あるのは魔法陣の書かれた机がだけ。

あの本棚もなかった。

まだ分からない。

これから何があるかは。なんで私がここに来たのかは。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0987n/>

best order 覚悟の決意

2011年1月19日11時33分発行